



総務省

# 統計人材確保・育成事業

---

(補足説明資料)

令和6年6月

総務省統計局

# 統計人材の確保・育成

## 【事業目的】

- 公務員（国・地方公共団体等の職員）に、統計研修を実施し、統計作成の中核を担う統計人材を育成
- データサイエンス・オンライン講座や統計リテラシー向上セミナー（政府統計データの利活用に関するセミナー）の実施を通じて、官民を問わず、統計データに理解のある人材育成、データの適切な利用を推進し、調査に対する理解増進及び協力意識の醸成を図り、正確な統計の作成に貢献

### 公務員向け

### 一般（個人）向け

### 民間企業向け

- ① **国家公務員・地方公務員における統計人材の育成**  
 - オンライン研修（eラーニング形式）を活用した研修プログラムの充実を図り、幅広く受講可能な仕組みを整備  
 - 双方向の演習を中心とした集合研修及びライブ配信と組み合わせることにより、効果的な統計研修を提供

- ② **データサイエンス・オンライン講座**  
 - データサイエンス・オンライン講座の提供・充実を通じて、統計リテラシーを有し“データサイエンス力”の高い人材の育成や、統計調査に対する協力意識を醸成

- ③ **統計リテラシー向上セミナーの実施**  
 - 企業におけるデータサイエンススキルの裾野拡大及び政府統計データへの理解増進を図り、統計リテラシーの向上を促し、企業における統計データの有効活用を推進

- いつでも、どこでも、何度でも  
 受講可能な研修の提供  
 （eラーニング形式のオンライン研修）



- データサイエンス・オンライン講座

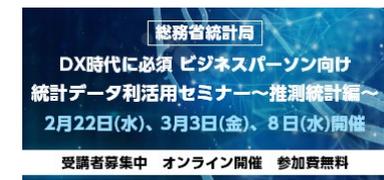


<入門編>  
 統計学の基礎  
 や統計データ  
 分析の基本

<演習編>  
 ビジネスでの分  
 析事例、実務  
 的データ分析

<活用編>  
 統計オープン  
 データを活用し  
 たデータ分析

- ビジネスパーソン向け統計データ利活用セミナー



- セミナー動画・教材を公開  
 （いつでも誰でも視聴が可能）



・提供講座数：4年度：29講座 5年度：31講座  
 ・修了者：4年度：13,542人 5年度：12,041人

・入門編 4年度：24,677人 5年度：23,964人  
 ・演習編 4年度：18,933人 5年度：10,944人  
 ・活用編 4年度：8,518人 5年度：8,438人

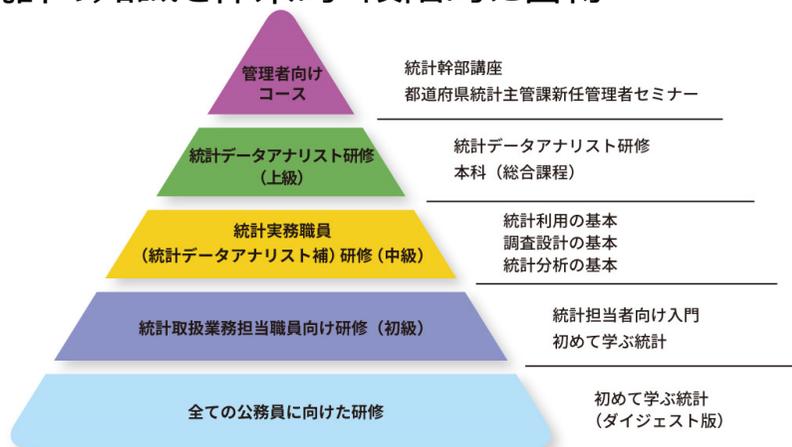
・4年度（3回開催）計：542人  
 ・5年度（2回開催）計：844人

# ① 国家公務員・地方公務員における統計人材の育成

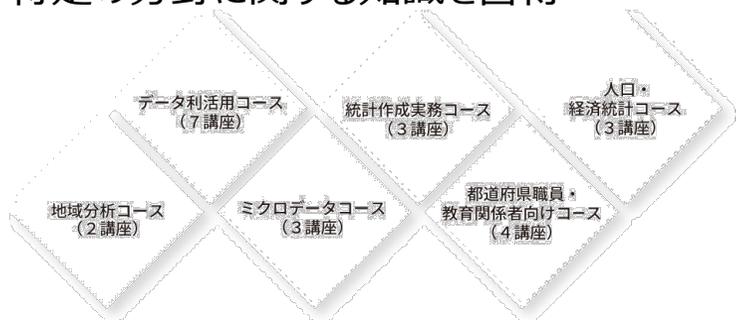
【事業概要】 総務省 統計研究研修所において、国家公務員・地方公務員を対象に統計作成面及び利用面等の各種統計研修を実施

## 研修体系

- 業務レベル別研修  
統計の知識を体系的・段階的に習得



- 分野別研修  
特定の分野に関する知識を習得



## 受講形態

- 対面形式で行う「集合研修」
- 集合研修をリアルタイム配信し、リモート受講できる「ライブ配信研修」
- 専用サイトにおいてeラーニング形式で受講する「オンライン研修」

対面形式

集合研修

**教室で対面形式**

東京都分庁市の当研修所教室で対面形式により受講。講師から直接お話を聞け、気軽に質問などができます。

**宿泊施設も利用できます**

遠方からの来所の際は敷地内の寮に宿泊ができます。

※1週間ごとにリネン代(600円程度)の実費負担が必要です。新年度についての詳細は統計研修ポータルサイト「統計研修ひろば」をご覧ください。

インターネット配信

ライブ配信研修

**動画閲覧でリモート形式**

集合研修の様子をリアルタイム配信で閲覧しリモート受講。教室での講義をそのまま自宅等で受講できます。遠方にお住まいの方におすすめです。

**見逃し配信も可能!**

講義終了後、約2週間の見逃し配信も可能です。

オンライン研修

**便利なeラーニング形式**

専用サイトでeラーニング形式により受講。配信期間内なら都合のいい時間に受講できるので、まとまった時間をとりにくい方におすすめです。

**視覚的にわかりやすい!**

アニメーションや字幕の表示により、視覚的にも理解しやすくなっています。

# ②データサイエンス・オンライン講座

【事業概要】MOOCの手法を利用し、誰でも無料で学べるオンライン講座を開講（「入門編」・「演習編」・「活用編」）

※講座は、

- ・受講者ニーズ等に応じて定期的にリニューアルを実施。
- ・講義動画の視聴・確認テストを経て、最終課題により習熟度を確認（修了証の発行）
- ・受講後アンケートにより、本事業の目的である、統計調査に対する協力意識を確認



統計学の基礎等、統計データ分析の基本的な知識を学習

(講座の特徴)

統計データ分析の基本的な知識を学べる入門編講座

(開講時期)

初回開講:平成27年3月

開講回数:19回 ※特別開講含む

(学習時間)

1回10分程度×6～9回程度  
(1週間)×4週

(実績)

延べ約192,000人が受講



ビジネス上での分析事例を中心に実践的なデータ分析の手法を習得

(講座の特徴)

「社会人のためのデータサイエンス入門」を踏まえ、より実践的な内容へ

(開講時期)

初回開講:平成28年4月

開講回数:13回 ※特別開講含む

(学習時間)

1回10分程度×5～7回程度  
(1週間)×5週

(実績)

延べ約87,000人が受講



統計オープンデータを活用したデータ分析の手法を習得

(講座の特徴)

e-Stat(政府統計の総合窓口)等を使い、統計オープンデータの活用方法を学ぶ

(開講時期)

初回開講:平成29年6月

開講回数:11回 ※特別開講含む

(学習時間)

1回10分程度×5～7回程度  
(1週間)×4週

(実績)

延べ約52,000人が受講

# ③統計リテラシー向上セミナーの実施

## 【事業概要】

民間企業の社会人を対象に、ビジネスで役立つデータ利活用に関する統計の知識及び政府統計データの利活用に関するセミナーを開催

※ 企業におけるデータサイエンススキルの裾野拡大及び政府統計データへの理解増進を図ることで、統計リテラシーの向上を促しビジネスにおける統計データの有効活用を推進

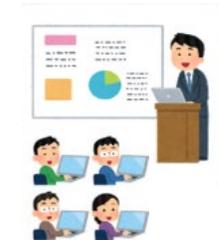
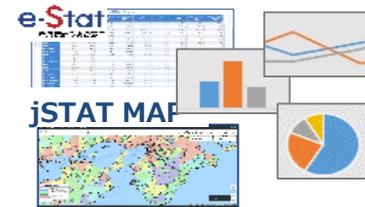
## WEBセミナー

- ・ビジネスで役立つ統計学の基礎
- ・政府統計データを用いたデータ分析に関する知識

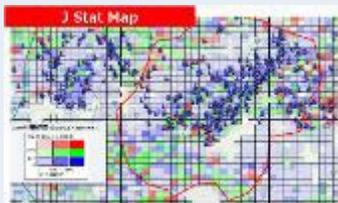


## 集合セミナー

- ・実際のビジネスシーンを想定したデータ分析演習
- ・政府統計（e-Stat及びjSTAT MAP）を活用したデータ分析の可視化



## <ビジネスシーンにおける統計データの有効活用（例）>



・フランチャイズビジネスにおけるドミナント戦略



・地図と政府統計データをベースとしたGISサービスの提供



・地図と政府統計データを組合わせたエリアマーケティングツール



・e-Statのオープンデータを活用した調査研究やコンサルティング

# 「統計人材確保・育成事業」のロジックモデル(参考1)

【対象：公務員】

## アクティビティ

○国・地方公共団体等の職員を対象とした統計研修の実施

## アウトプット

○国・地方公共団体等の職員を対象とした統計研修の提供

(統計研修講座数)  
3年度 24講座 (実績)  
4年度 29講座 (実績)  
5年度 31講座 (実績)  
6年度 31講座 (見込み)

## 短期アウトカム

○国・地方公共団体等の職員を対象とした統計研修の受講者数の確保

(統計研修受講者数)  
3年度 15,445人 (実績)  
4年度 18,999人 (実績)  
5年度 18,362人 (実績)  
6年度 15,000人 (目標)

※目標値(6年度は2年度から4年度の受講者数の平均値を活用)

## 中期アウトカム

○国・地方公共団体等の職員を対象とした統計研修の満足度及び理解度の向上

研修受講者の満足度及び理解度  
5年度 90% (実績)  
8年度 80% (目標)

※4年度までは研修受講者の満足度及び理解度を把握していない

## 長期アウトカム

○国・地方公共団体等の職員の統計人材の育成

(統計研修修了者数)  
3年度 11,390人 (実績)  
4年度 13,542人 (実績)  
5年度 12,041人 (実績)  
10年度 11,000人 (最終目標)

※目標値(10年度)は2年度から4年度の修了者数の平均値を活用

## 長期アウトカム指標について

- 長期アウトカム指標は、短期アウトカム指標と同じ時点で発現してしまうことから、国民に対してロジックとして理解されない恐れがあると認識。
- 理想的なアウトカム指標は、研修修了者が統計人材として活かされているかを定量的に把握することも考えられるが、実際にこれを把握することは困難と認識。

→ 長期アウトカム指標については、まずはエピソードベースで改善事例等をエビデンスとして集めていき、実態把握を進め、定量指標を設定するためのヒントを得つつ、やがて定量的にモニタリングできるようにしていくことを今後検討していきたい。(現在の長期アウトカム指標については、参考指標とすることも検討)

# 「統計人材確保・育成事業」のロジックモデル(参考2)

【対象：一般（個人）及び民間企業】

## アクティビティ

○データサイエンス・オンライン講座（入門編、演習編、活用編）を經常的に実施することにより、広く国民へ、データサイエンスを学習する環境を提供するとともに民間企業の社会人を対象とした政府統計データの利活用に関するセミナーを開催する。

分析事例の経年劣化等に対応すべく、ニーズに応じた講座のリニューアルを実施

## アウトプット

○データサイエンス・オンライン講座等の実施

〔オンライン講座（本開講）及びセミナーの実施回数〕  
3年度 4回（実績）  
4年度 6回（実績）  
5年度 5回（実績）  
6年度 6回（見込み）

## 短期アウトカム

○国民の統計リテラシーの向上

〔データサイエンス・オンライン講座（本開講）及びセミナー受講者数〕  
3年度 22,474人（88.8%）  
4年度 36,083人（140.9%）  
5年度 31,774人（124.1%）  
6年度 25,600人（目標）

※データサイエンス・オンライン講座（本開講）の受講者数及び民間企業の社会人を対象とした政府統計データの利活用に関するセミナーの受講者数。

※（%）は達成率

## 中期アウトカム

○統計調査に対する国民の理解増進及び統計調査に対する協力意識の醸成

（統計調査への理解度）  
3年度 93.7%（実績）  
4年度 93.6%（実績）  
5年度 94.4%（実績）  
8年度 90%（目標）

※5年度から設定した指標

## 長期アウトカム

○データサイエンス人材の育成

〔オンライン講座の修了者数及びセミナーの受講者数〕  
3年度 4,617人（実績）  
4年度 8,193人（実績）  
5年度 6,529人（実績）  
9年度 7,000人（最終目標）

※5年度から設定した指標

# 関連する閣議決定等(参考)

## ●公的統計の整備に関する基本的な計画（令和5年3月28日閣議決定）抄

### 第3章 公的統計の作成・提供・利用の基盤整備

#### 5. 統計リソースの確保・人材育成

##### (2) 統計人材の育成

重大事象の発生を回避しつつ、統計の品質の確保・向上、統計の利活用促進、調査環境改善などを推進するためには、既存の統計リソースを量的に充実し、効果的に活用するのみならず、統計作成に携わる統計人材の能力や専門性の向上といった質的な強化を行うことが不可欠である。

(～略～)

こうした状況を踏まえて、第IV期基本計画期間においては、専門人材の不足は、統計ユーザー等に対し、そのニーズへの対応を遅らせ、また、不適切処理などによる影響を及ぼすものであるとの認識に立って、職員に対する研修の充実、「統計データアナリスト」及び「統計データアナリスト補」の確保・育成・配置の加速に引き続き取り組む。

(～略～)

# 関連する閣議決定等(参考)

## ●公的統計の整備に関する基本的な計画(令和5年3月28日閣議決定)抄

### 第3章 公的統計の作成・提供・利用の基盤整備

#### 6 国民の支持・理解が得られやすい統計作成への取組

##### (2) 統計調査の環境整備、国民全体の統計に対する理解増進

(統計の利活用を通じた統計調査に対する理解の増進)

また、公的統計が社会の重要な情報基盤として、国民により一層幅広く使われるようになることは、結果として、統計調査の意義や必要性の理解や統計調査への協力の確保につながる。

第Ⅲ期基本計画期間においては、統計の利活用を促進するため、統計の分析や活用の手法などに関するオンライン講座のリニューアルを行い、令和4年度(2022年度)は約5万人が当該講座を受講した。

また、平成30年(2018年)から実施している統計データ分析コンペティションでは、毎年、着実に応募件数が増加しており、大学等と連携したセミナーや教員対象の講習会の開催なども開催回数を伸ばしてきている。

(今後の取組)

一方、このような啓発・周知の取組の中には、効果が発現するまでに期間を要するものもある。これらの取組は、一過性のものとはせず、継続的に対応していくことが必要となる。

このため、第Ⅳ期基本計画期間においては、統計調査の意義や必要性に関する国民の理解を深め、統計ユーザー等に品質の高い統計を着実に提供するとの基本的な考え方に立って、こうした取組を着実に継続するとともに、個別の統計調査における調査環境の実情、回収状況の動向などを把握しつつ、必要な取組の改善を弾力的に行う。

# 関連する閣議決定等(参考)

## ●デジタル田園都市国家構想総合戦略(令和4年12月23日閣議決定)抄

### 第4章 各分野の施策の推進

#### 2.分野別の施策の推進

##### (3)デジタル人材の育成・確保

##### ⑥その他の関連重要施策

##### イ デジタルスキルを習得する多様な機会の確保

###### (a)データサイエンスに関する講座

- ・統計リテラシーを有する者を増加させ、データサイエンス力の高い人材の育成と国民や事業者によるデータの適切な利用を推進することを目的として、統計データを利活用していく能力の向上に資するオンライン講座や、統計分析を行うプログラミングセミナーを実施する。

(総務省統計局統計情報利用推進課)

###### (b)統計リテラシー向上セミナー

- ・民間企業における統計データの利活用が可能な人材を育成し、政府統計データへの理解増進を図り、ビジネス社会における政府統計データの有効活用を推進することを目的として、民間企業の社会人を対象にビジネスで役立つ統計データ利活用に関するセミナーを開催する。

(総務省統計局統計データ利活用センター)

##### ウ 公的分野におけるデジタル人材の育成・確保

###### (d)国家公務員・地方公務員における統計人材の育成

- ・統計の作成、分析・利用に必要な知識の習得を目的として国家公務員・地方公務員を対象に実施する研修について、集合形式の研修に加え、eラーニング形式のオンライン研修や研修のライブ配信等、ICTを活用した研修の充実を図り、多くの職員が受講しやすい環境を整備する。

(総務省統計研究研修所研修企画課)

# 関連する閣議決定等(参考)

## ●デジタル田園都市国家構想基本方針(令和4年6月7日閣議決定)抄

### 第3章 各分野の施策の推進

#### 3. デジタル人材の育成・確保

##### (6) その他の関連重要施策

##### ② デジタルスキルを習得する多様な機会の確保

###### (a) データサイエンスに関する講座

- ・統計リテラシーを有する者を増加させ、データサイエンス力の高い人材の育成と国民や事業者によるデータの適切な利用を推進することを目的として、統計データを利活用していく能力の向上に資するオンライン講座を実施する。

(総務省統計局統計情報利用推進課)

###### (b) 統計リテラシー向上セミナー

- ・民間企業における統計データの利活用が可能な人材を育成し、政府統計データへの理解増進を図り、ビジネス社会における政府統計データの有効活用を推進することを目的として、民間企業の社会人を対象にビジネスで役立つ統計データ利活用に関するセミナーを開催する。

(総務省統計局統計データ利活用センター)

##### ③ 公的分野におけるデジタル人材の育成・確保

###### (c) 国家公務員・地方公務員における統計人材の育成

- ・統計の作成、分析・利用に必要な知識の習得を目的として国家公務員・地方公務員を対象に実施する研修について、集合形式の研修に加え、eラーニング形式のオンライン研修や研修のライブ配信等、ICTを活用した研修の充実を図り、多くの職員が受講しやすい環境を整備する。

(総務省統計研究研修所研修企画課)